

JIS

コアグラージェ陽性ブドウ球菌
(黄色ブドウ球菌など) の菌数測定方法—
第 3 部：低菌数の検出法及び
最確数 (MPN) 法による生菌数測定法

JIS K 3703-3 : 2008

(JBA/JSA)

平成 20 年 3 月 20 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京電機大学
(委員)	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	田 中 誠	財団法人鉄道総合技術研究所
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	林 田 昭 司	社団法人日本化学工業協会
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	中 田 亜洲生	昭和シェル石油株式会社
	村 重 正 行	日本プラスチック工業連盟
(専門委員)	村 井 陸	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20

官 報 公 示：平成 20.3.21

原 案 作 成 者：財団法人バイオインダストリー協会

(〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビルディング TEL 03-5541-2731)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人バイオインダストリー協会(JBA)及び財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を制定すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に係る確認について、責任はもたない。

JIS K 3703 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS K 3703-1 第 1 部：ベアード・パーカー寒天培地

JIS K 3703-2 第 2 部：ウサギ血しょう（漿）フィブリノーゲン寒天培地

JIS K 3703-3 第 3 部：低菌数の検出法及び最確数（MPN）法による生菌数測定法

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. 一般原則	2
4.1 検出法	2
4.2 生菌数測定法	3
5. 希釈液及び培地	3
5.1 希釈液	3
5.2 改変 Giolitti-Cantoni プロス (ブイヨン又は液体培地)	3
5.3 寒天溶液	5
5.4 ベアード・パーカー選択寒天培地	5
5.5 ウサギ血しょうフィブリノーゲン寒天培地	6
5.6 ブレインハートインフュージョン (BHI) プロス (ブイヨン又は液体培地)	6
5.7 ウサギ血しょう	7
6. 装置及び器具	7
6.1 細菌培養器	7
6.2 乾燥キャビネット又は乾燥器	7
6.3 シャーレ	7
6.4 白金線	7
6.5 白金耳	7
6.6 試験管	7
6.7 目盛付きピペット (メスピペット)	7
6.8 ウォーターバス	7
6.9 葉さじ	7
6.10 嫌気ジャー	7
7. サンプリング方法	7
8. 試料の調製	7
9. 手順	7
9.1 検出法	8
9.2 生菌数測定法	8
9.3 平板の選択及び判定	8
10. 試験結果の表現	10
10.1 検出法	10
10.2 生菌数測定法	10

	ページ
11. 精度	10
12. 試験報告書	10
参考文献	11
附属書（参考）JIS と対応する国際規格との対比表	12
解 説	15

白 紙

コアグララーゼ陽性ブドウ球菌（黄色ブドウ球菌など） の菌数測定方法—第3部：低菌数の検出法及び 最確数（MPN）法による生菌数測定法

Horizontal method for the enumeration of coagulase-positive staphylococci
(*Staphylococcus aureus* and other species)—Part 3: Detection and MPN
technique for low numbers

序文 この規格は、2003年に第1版として発行された **ISO 6888-3**, Microbiology of food and animal feeding stuffs—Horizontal method for the enumeration of coagulase-positive staphylococci (*Staphylococcus aureus* and other species)—Part 3: Detection and MPN technique for low numbers を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある箇所は、原国際規格を変更している事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書（参考）**に示す。

1. 適用範囲 この規格は、コアグララーゼ陽性ブドウ球菌用培地を用いて低菌数のコアグララーゼ陽性ブドウ球菌（黄色ブドウ球菌及びその他の種）を検出する方法について規定する。この規格で用いる試料は、食品、動物用飼料及び食品を製造若しくは取り扱う現場の環境試料とする。

備考1. この規格は、当該ブドウ球菌がストレスを受けて、その数が少ないと予想される乾燥試料などに利用できる。コアグララーゼ陽性ブドウ球菌は、主に黄色ブドウ球菌（*Staphylococcus aureus*）であるが、*Staphylococcus intermedius*, *Staphylococcus hyicus*, *Staphylococcus delphini*,... *Staphylococcus schleiferi* などの一部の菌株もコアグララーゼを産生する。

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21**に基づき、IDT（一致している）、MOD（修正している）、NEQ（同等でない）とする。

ISO 6888-3:2003, Microbiology of food and animal feeding stuffs—Horizontal method for the enumeration of coagulase-positive staphylococci (*Staphylococcus aureus* and other species)—Part 3: Detection and MPN technique for low numbers (MOD)

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 3701 培地の試験方法—通則

備考 **ISO 7218:1996**, Microbiology of food and animal feeding stuffs—General rules for microbiological examinations 及び **AMENDMENT 1:2001** からの引用事項は、この規格の該当事項と同等であ